

平成30年度 地理歴史科「世界史B」SYLLABUS

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 第2学年 特別進学・進学クラス文系・文理系コース
教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)	副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説 (浜島書店)

1. 学習の到達目標

①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる
②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う
③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	世界史への扉	気候変動と私たち人類の生活 漂流民のみた世界 砂糖からみた世界の歴史	・気候変動を歴史的に考察し、人類の生活形態や行動様式に大きな影響を与えてきたことに気付く。 ・外国の様子を直接見聞した漂流民の活動から、日本と世界の接触・交流の具体的様相、および日本史と世界史との密接な繋がりに気付く。 ・砂糖という身近な日常品の歴史を辿ることから、世界史の諸問題がとらえられることに気付く。	・定期考査 ・課題レポート ・発問評価 ・授業態度
		序章 先史の世界	先史の世界	・人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の分化を理解する	授業態度 発問評価
	5	第1章 オリентと地中海世界	1. 古代オリент世界 2. ギリシア世界 3. ローマ世界	・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリент文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。 ・都市国家から大帝國に発展したローマ文明の特質を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	6	第2章 アジア・アメリカの古代文明	1. インドの古典文明 2. 東南アジアの諸文明 3. 中国の古典文明 4. 南北アメリカ文明	・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 ・東南アジアの地理的特質を把握し、東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。 ・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝國の動向までを理解する。 ・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	7	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	1. 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2. 北方民族の活動と中国の分裂 3. 東アジア文化圏の形成	・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。 ・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晉南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝國の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
	9	第4章 イスラム世界の形成と発展	1. イスラム世界の形成 2. イスラム世界の発展 3. インド・東南アジア・アフリカのイスラム化 4. イスラム文明の発展	・イスラム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラム帝國の形成を理解する。 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラム世界を拡大させていった過程を理解する。 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラム化など、イスラム世界の拡大の過程を理解する。 ・イスラム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
後 期	10	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	1. 西ヨーロッパ世界の成立 2. 東ヨーロッパ世界の成立 3. 西ヨーロッパ中世世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化	・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 ・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 ・教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
	11	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	1. トルコ化とイスラーム化の進展 2. 東アジア諸地域の自立化 3. モンゴルの大帝国	・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	12	第7章 アジア諸地域の繁栄	1. 東アジア世界の動向 2. 清代の中国と隣接諸地域 3. トルコ・イラン世界の展開 4. ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 ・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。 ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	1	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	1. ヨーロッパ世界の拡大 2. ルネサンス 3. 宗教改革 4. ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。 ・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 ・主権国家体制の特色と体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	2 3	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	1. 重商主義と啓蒙専制主義 2. ヨーロッパ諸国の海外進出 3. 17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と、それを生み出した社会状況を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	世界の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し、通史的流れを総合的に考え民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付ける。
思考・判断・表現	歴史事象の本質や人間としての在り方について広い視野に立って考察するとともに、歴史の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。
資料活用の技能	歴史の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。
知識・理解	世界の歴史の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

4. 評価法

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

5. 担当者からのメッセージ

インターネットや新聞・ニュースなどのマス・メディアなどを活用して、わかりやすい事例を提示できるように心がけたい。